

キャラクター名
庵谷 鴉 (いおりや とき)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル		ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	忘却	衝動	憎悪	初期侵食率	38%	
出自	天涯孤独	経験	実験体	邂逅	復讐(欲望)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	129
肉体	3	1	0			4	行動値	7
感覚	3		0			3	(非装備時)	7
精神	1		0			1	戦闘移動	12
社会	1		0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1	1	調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
エンブレム:濃縮体	
思い出の一品	
コネ:要人への貸し	
コネ:手配師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:復讐者	P	N		
私が一す。: 科学者	P 執着	N 憎悪		
仕事相手:「マスター・マインド」天船	P 有為	N 猜疑心		
シナリオロイス:コード578 (唯)	P 好奇心	N 無関心		
上司:大和真理	P 有為	N 隔意		
実力者:オルダム(マスター・サムライ)	P 誠意	N 脅威		
同類:アイン	P 親近感	N 憐憫		

最大財産P: 10 残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ex	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-LV(下限値7)							
貪欲なる拳	2	3	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果:	ダイス+[LV+1]個							
伸縮腕	3	2	メジャー	視界	-	白兵	-	
効果:	射程を視界に変更、判定ダイス[3-LV]個							
赫き剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	HPを[LV×2]点まで消費し武器を作成する							
異形の刻印	10	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	最大HPを[LV5]、侵蝕率基本値+3							
怒涛の大蛇	1	4	白兵	視界	シーン(選択)	白兵	リミット	
効果:	<伸縮腕>と組み合わせ使用、対象をシーン(選択)に、射程を視界に変更。シナリオ1回							
災いの魔剣	1	2D10	メジャー	武器	単体	白兵	100%	
効果:	HPを残り1点まで失い、攻撃力に+[あなたが失ったHP] (最大LV×10点)							
擬態の仮面	1	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果:	顔や姿を変化させる							
ブラッドリーディング	1	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果:	血や体液から情報を読み取る							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

FHセル「」に籍を置くFHチルドレン。表向きはある私立高校の学生として生活している。

幼少期、彼女はオーヴァードとしての素質を見出されたFHの研修者によって拉致される形で物心ついた時にはFHのある実験施設で生活していた。そこではブラム=ストーカーのシンドロームに感染したオーヴァードばかりが集められ、とある研究者の主導によりある実験が行われていた。それは「ブラム=ストーカーのオーヴァード同士で争わせ、生き残った者に敗れた者の血液を取り込ませ統合させることにより、最強のブラム=ストーカーのオーヴァードを生み出せないか」というものだった。来る日も来る日も子供たちによる命の奪い合いと研究者による身体データの収集を繰り返す日々。殺し合いで人数が減っては不定期に新しいブラム=ストーカーの子供達が増え、また殺し合いが続く日々。能力の低いオーヴァードは容赦なく殺され、勝ち残ったオーヴァードも他の血液から自身以外のシネゲイドウィルスを取り込んだことによる肉体の拒絶反応に苦しみ、中には体が耐えられず死に至るものもいた。「感情を殺した理想的なオーヴァードになるための訓練」と称して、施設内で仲の良かった子供達とも戦わされた。施設に入ったばかりの頃、色々と面倒を見てくれた姉のようだった人は涙を流しながらも生き残る為にこちらに武器を向け、彼女も涙を流しながら生き残る為にその女性を自らの手で斬った。一番仲の良かった子は、彼女に生き残ってもらったにあえて攻撃を避けず受け自ら命を絶った。大勢の同じ施設内にいたオーヴァード達を殺し唯一生き残った彼女だったが、手に入ったのは最強の力などではなく、肉体の拒絶反応に耐え続けた結果並みのオーヴァードより少しばかり痛みに強くなった体だけだった。

施設の主任研究者は失敗に終わった実験結果を見て彼女から興味を失い、失敗作だとしてエージェントとしては使えそうな彼女を適当なFHセルに売り渡し姿を消した。その時点で14歳だった彼女は表面上は粛々とそれを受け入れ、送られたセルで淡々と、落ち着いた様子で任務をこなしていった。彼女を買収したセルはその様子を見て「流石感情を殺す訓練を受けたチルドレンだ。これなら兵士として優秀だ」と彼女を高く評価した。……彼女が、穏やかな表情の下に暗い復讐心を抱え続けていることを知らずに。

売られてから1年ほど後に彼女は所属していたセルを離れ、当時の主任研究者の情報を追いつながら様々なセルを傭兵のように転々とするようになる。現在はたどり着いた山鹿市に存在していた「」セルに一ヶ月ほど前から籍を置き、エージェントとして任務をこなしながら個人的に研究者の情報を集めつつ、いずれ来る時の為に静かに牙を研いでいる。……一見柔らかな物腰の下で、未だ憎悪と復讐の炎でその身を焦がしながら。